

# 日本農芸化学会2016年度大会

## ランチョンセミナー企画募集

### ご案内・申込書

日本農芸化学会は、農芸化学の進歩を図り、それを通じて科学、技術、文化の発展に寄与することを目的として、1924年に設立された学術団体です。2014年に創立90周年を迎えました。

会員数(学会ホームページ 2014年2月末現在)

名誉会員	有功会員	シニア	一般	教育	学生会員	団体会員	賛助会員	国外	合計
17	203	330	7,635	28	2,103	291	111 (口数 225)	149	10,867

10,000名を超える学術団体で、大会の参加登録は例年約5,000名と、90年の歴史と伝統のある日本農芸化学会で、ぜひランチョンセミナーを介し貴社のテクノロジー、製品、サービスなどを参加者にお伝えください。

日本農芸化学会2016年度大会

実行委員長

川端 潤

北海道大学大学院農学研究院

## 大会概要

- 名称                   和文名   日本農芸化学会 2016 年度大会  
  
                          英文名   Annual Meeting of Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry 2016
  
- 開催機関名称   主催       公益社団法人 日本農芸化学会  
  
                          運営       日本農芸化学会 2016 年度大会 実行委員会
  
- 会期                   2016 年 3 月 27 日(日)～30 日(水)
  
- 会場                   3 月 27 日(日) :                   札幌市教育文化会館大ホール、ホテルロイトン札幌  
  
                          3 月 28 日(月)～30 日(水): 札幌コンベンションセンター、札幌市産業振興センター
  
- 参加者数           約 5,000 名 ※招待者等含む
  
- 大会開催の目的と意義

日本のバイオサイエンスやバイオテクノロジーの基幹であります当学会の大会には、日本全国の大学・附属研究施設、国公立の研究所・試験研究機関、民間会社・研究機関、バイオ関連を含むベンチャー企業、知財保守関連法人等より、5,000名程の研究者が集まります。大会では「生命・食・環境」の広範囲な分野をカバーする最新の研究成果が発表・討論され、情報交換が行われます。

私ども実行委員会は、全力を挙げて国際的にも水準の高い大会の成功のために努力したいと念じている次第であります。また、本大会は、生命・食・環境研究の中核を担い、バイオサイエンスやバイオテクノロジーを基幹としてその産業化をめざす、世界に類を見ない総合科学を推進する場であり、21世紀にふさわしい研究推進のために開催するものであります。そして、交流、研究発表、研究情報の交換の場の提供を通じて、研究の更なる振興を図るとともに若手研究者の育成も行っております。

●日本農芸化学会2016年度大会 実行委員会

実行委員長 川端 潤 北海道大学大学院農学研究院  
副実行委員長 原 博 北海道大学大学院農学研究院

総務・広報

橋床 泰之 北海道大学大学院農学研究院  
曾根 輝雄 北海道大学大学院農学研究院  
橋本 誠 北海道大学大学院農学研究院  
比良 徹 北海道大学大学院農学研究院  
阿部 歩 北海道大学大学院農学研究院

会計

石塚 敏 北海道大学大学院農学研究院  
加藤 英介 北海道大学大学院農学研究院  
福士 江里 北海道大学大学院農学研究院

会場・受付

森 春英 北海道大学大学院農学研究院  
和田 大 北海道大学大学院農学研究院  
福士 幸治 北海道大学大学院農学研究院  
高田 祐輔 北海道大学大学院農学研究院  
田口 精一 北海道大学大学院工学研究院

学術・プログラム

木村 淳夫 北海道大学大学院農学研究院  
松浦 英幸 北海道大学大学院農学研究院  
吹谷 智 北海道大学大学院農学研究院  
松本 謙一郎 北海道大学大学院工学研究院

懇親会・ミキサー

横田 篤 北海道大学大学院農学研究院  
佐分利 亘 北海道大学大学院農学研究院

展示・ランチョン

園山 慶 北海道大学大学院農学研究院  
高橋 公咲 北海道大学大学院農学研究院

産官学学术交流委員会フォーラム

大利 徹 北海道大学大学院工学研究院

化学と生物シンポジウム

生方 信 北海道大学大学院農学研究院  
重富 顕吾 北海道大学大学院農学研究院

ジュニア農芸化学会

玖村 朗人 北海道大学大学院農学研究院

Frontiers シンポジウム

奥山 正幸 北海道大学大学院農学研究院

託児ルーム

崎浜 靖子 北海道大学大学院農学研究院

接待

浅野 行藏 北海道大学大学院農学研究院

# 予算計画

## (1) 収入の部

費目	予算額	備考
(1)参加費 大会参加および懇親会参加	40,000,000	一般会員・学生会員・非会員 (事前+当日)
(2)ランチョンセミナー共催費	10,000,000	
(3)展示会出展費	27,000,000	出展企業:機器・試薬・各種受託サービス等研究支援企業、制約・食品・飲料等企業、アカデミック団体、書籍販売等
計	77,000,000	

## (2) 支出の部

費目	予算額	備考
(1)会場関係		
札幌市教育文化会館	1,000,000	会場、付帯設備、機材・設営、等 諸経費
ロイトン札幌	12,000,000	会場、付帯設備機材・設営、懇親会
札幌コンベンションセンター	55,000,000	会場、展示全般、付帯設備、機材・設営、業務委託、スタッフ等 諸経費
(2)その他	9,000,000	実行委員会開催、プログラム、通信運搬、雑費 等
計	77,000,000	

※2015年9月4日現在

## ● ランチョンセミナー開催概要

- (1) 目的 企業の新製品、活動(貴社の寄付金による社会活動など)を発表
- (2) 開催日程 2016年3月28日(月)、29日(火)、30日(水)の3日間
- (3) 開催時間 大会の昼食時間 50分  
1日3社から5社程度の並行開催になります。  
昼食は整理券を発行いたします。整理券は大会側で用意します。
- (4) 会場 大会講演会場を利用
- (5) 講演形式 1セミナー 50分以内。液晶プロジェクターのみ使用。  
日本農芸化学会と貴社との共催といたします。
- (6) 共催費 1セミナー 540,000円(消費税8%を含む)  
大会参加証を5枚提供いたします。懇親会への参加費は含まれておりません。懇親会に参加される場合は、当日会場にて当日参加の懇親会費をお支払いいただきご参加ください。  
会場係員1名(照明担当)、映像・音響設備を提供します。  
プログラム集(冊子)、プログラム検索(大会ホームページより)では、演題名、演者、座長名などテキストで紹介をいたします。また、講演要旨集 PDF版(電子ジャーナル)では、要旨を掲載いたします。  
※昼食時間帯ですので、簡単な昼食と飲料(1,200円程度/1食)を別途ご負担願います。発注数は会場によって席数が異なりますので、講演会場決定後に連絡いたします。発注は事務局にて一括発注といたします。  
※お申込み後(E-mail、FAX等による申込受理後)は、原則取り消しはできません。したがって共催費の返金や未入金は認められませんのでご了承の上、お申込みください。
- (7) 申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、申込先にE-mailまたはFAXでお送りください。  
申込用紙に希望される発表日と会場の規模(席数)をご記入ください。  
演題や演者が未定でも、お申込みはできます。
- (8) 申込締切日 2015年11月13日(金)
- (9) 申込先 株式会社エー・イー企画 日本農芸化学会 2016年度大会展示会係  
Tel. 03-3230-2744 Fax. 03-3230-2479 E-mail. e\_16jsbba@aeplan.co.jp  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4F
- 注意事項
- ・単なる製品説明ではなく、背景となる原理・理論の解説や役立つ応用例の紹介など、魅力ある新製品・新技術の解説講演になるよう工夫をこらしていただけると幸いです。
  - ・製品説明以外にも貴社の様々な活動(補助金や寄付金による社会活動など)の発表でも結構です。講演依頼される場合は貴社にて行って頂きます。
  - ・司会進行は貴社で行って頂きます。
  - ・本ランチョンセミナーと関連し、より具体的な個別の説明の場として、「附設展示会」および「バイオビジネスアピールエリア」のご活用も併せてご検討ください。
  - ・会場前には配布資料等を置くための机を用意します。
  - ・参加者へのお弁当配布は貴社にてお願いします。会場までのお弁当配布と回収は大会側で行います。
  - ・お申込み後に、請求書を発行いたします。お振込み期限は2016年3月10日です。
  - ・プログラム集(冊子)、プログラム検索(大会ホームページより)に掲載します。
- ご用意いただく原稿は、①テキスト:演題名・演者(複数演題の場合は演題順を記載)、座長・司会名及び要旨テキスト(全角1144文字:1行あたり44文字×26行)。②講演要旨集 PDF版(電子ジャーナル)に掲載の要旨原稿(カラー可)の締切日予定日は 2016年1月12日です。

# 日本農芸化学会2016年度大会 ランチオンセミナー共催申込書

年 月 日

会社名: \_\_\_\_\_

所在地: (〒 \_\_\_\_\_ )

一住所一 \_\_\_\_\_

ご担当者: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 部 \_\_\_\_\_ 課

TEL. \_\_\_\_\_ FAX. \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

※必ずE-mailアドレスをご記入ください。

## 《講演内容》※演題、演者が未定の場合は未記入で結構です

演 題: \_\_\_\_\_

講演者名: \_\_\_\_\_

所 属: \_\_\_\_\_

発表希望日: 第1希望日 3月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 第2希望日 3月 \_\_\_\_\_ 日

発表会場(希望される席数)  200席 以下  201席以上 \_\_\_\_\_

講演概要<講演内容や演者等の情報を記載ください>

申込締切日: 2015年11月13日

※プログラムおよび講演要旨集の原稿締切日: 2016年1月12日